



心豊かな社会生活と様々な分野・テーマのリテラシーの重要性について～当社ビジョンの達成の道筋を考える～

合同会社オフィス・ライブラリー&インフォメーション・デリバリー
代表社員 林哲郎

当社の理念である「日本、そして世界を、心の豊かな社会にする」にある「心の豊かな社会」は、心豊かな生活を行う人々が形成する社会です。このような社会的役割を担う人々が心豊かな状態でいられるためには、個々人の「生活の総合リテラシー※」の高さが重要です。
※リテラシー→読み書き能力、識字のこと

識字率が高い国、リテラシーが高い人は、一般的に豊かであると考えられます。日本をはじめ、多くの国の識字率は90%を超えていますが、一方でアフリカや東南アジアなどには識字率が50%にとどまる国もあります。近年では、リテラシーは、文字の読み書き以外に、ある特定の物事を扱う知識やスキルのことを指して表現するようになってきました。代表的なリテラシーとしては、IT・情報化社会における情報(メディア)リテラシー※、家計管理やお金の使い方、金融との関わり方に対する金融(マネー)リテラシー※などです。学校教育における最近の変容を見ても、高校の必修教科目における情報科の設置や家庭科における金融教育の導入が行われています。

※情報(メディア)リテラシー→情報の扱い方、あふれる情報から自分の目的に合わせて必要なものを収集し、分析し活用できる。特に、インターネットやパソコン、スマートフォンを適切に使いこなすこと。

※金融(マネー)リテラシー→お金の使い方、家計管理や資産形成、株式・債券・投資信託などの金融取引、保険やローン・クレジットなどの知識を備え、生活設計に活かすスキル。

当社では、これらの「リテラシーの向上」を当社のビジョンである「事業を通して、身近な人々を幸せにする」におけるビジョン実現のキーワードと考え、身近な人々のライフステージにおける様々な分野・テーマにおける生活の総合リテラシーの向上につながるサービスを展開します。特に金融リテラシーはその最重要項目とします。

具体的なアプローチとしては、金融リテラシーが十分に備わっていない(学校教育で金融教育を受けられていない)かつ経済的な不自由さを抱える20代の社会人層全般に対して、自社開発したリントピカル読書法を用います。尚、このリントピカル読書法は、金融リテラシー以外でも応用が効くため、社会生活における様々な分野・テーマのリテラシー向上に寄与すると考えます。例えば、各々の労働・職業におけるビジネスに関するリテラシーや生活における衣食住・家事に関するリテラシー(ファッションリテラシー、住宅リテラシー、食生活(フード)リテラシー)、健康・医療に関するヘルスリテラシー、結婚・子育てにおけるリテラシー、企業における経営リテラシーなどにも用いて、身近な人々の生活の総合的なリテラシー、豊かさの獲得に寄与することで、心豊かな社会の実現を目指します。(2022/02/16)